

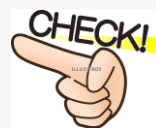
大村市在宅ケアセミナーだより

第 146 号 令和元年 9 月 発行元：〒856-0832 長崎県大村市本町 458 番地 2 プラットおおむら
(一法) 大村市医師会大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL：0957-54-0151

第 163 回 大村市在宅ケアセミナーのご案内

日時：令和元年 9 月 19 日（木）18：45～20：30

場所：大村市コミュニティセンター 大会議室



内容：『老健施設と訪問歯科の連携
～当施設の取り組みと変化～』



講師：社会福祉法人 朝老園
介護老人保健施設サンビレッヂ朝日ヶ丘
施設長 今村里香先生（理学療法士）

『おおむら夏越まつり 総踊りへの参加 お疲れ様でした!!』

110 名のセミナー会員や医師会の方々が参加して下さいました。惜しくも!? 賞は逃しましたが、皆さんと共に取り組んだことは、会員同士の繋がりや市民の皆さんとの繋がりが広がったと思います。

さらに今後の大村市の町づくりのために、地域資源としてできることを考えながら活動していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

(大村市在宅ケアセミナー会長 岡浩之)

今年の
市民公開講座は…
『劇』に再チャレンジ!

一緒に
『し・あ・わ・せ（福祉）
さがし』ははじめませんか？

ご参加お待ちしております
裏面に詳細を記載!



第162回大村市在宅ケアセミナー開催報告

日時：令和元年7月18日（木）18：45～20：30
場所：大村市コミュニティーセンター 大会議室
内容：『在宅ケアに役立つ精神症状の見方と対応方法について』
講師：うえき心療内科クリニック
院長 植木 健先生
参加者：90名（当日入会39名、内 初入会13名）



感想

たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

- ◆本日のお話で改めて勉強させて頂くことがたくさんありました。医療機関に勤務しています。患者さんも高齢化し認知症の診断がある方もたくさんいらっしゃいます。その中でもHDS-Rなどペーパーテストは高得点を取られますが、家族としては何日も同じ服を着たりなど問題だと思っていることがあるにも関わらず診断がつかない方の相談を受けることが多いです。先生により診断の仕方はそれぞれだと思いますが診断がつかず、なおかつ別の病院にかわることも簡単ではない現状で悩んでいる方が多いように感じます。貴重なお話をありがとうございました。
- ◆一般的なうつ病と認知症のうつ病、違いがある事が学べて良かったです。今年に入り父親がうつ病になり、家族皆長引く意欲低下、活動低下に心配をしています。本日の話を聞いて認知症の症状なのかな…とも感じましたが認知症専門医への受診、相談も考えてみようと思います。今まさに聞きたいお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ◆高齢化社会になるにつれ認知症の患者さんも多くなり、担当する患者さんも認知症の方が増えてきている。日々業務の中で入浴拒否と内服拒否は多く経験があります。その方の背景やどのような認知症なのかを考え、共感を示していくのが大切だと学びました。まずは関係性構築に努めます。
- ◆精神症状に対する理解を深める事ができました。植木先生のユーモアある説明、分かりやすかったです。もう少し細かい資料があれば嬉しかったです。
- ◆精神症状について高齢者や病名別に分かりやすく教えて頂きありがとうございます。介護軽減目的ではなく、その人らしい生活の為の治療という言葉聞いて目的を間違えてはいけないなと感じました。アルコールや自殺に関してのセミナーを開いて頂けると嬉しいです。
- ◆精神疾患についての説明が分かりやすかった。妄想についての説明が特に納得できました。認知症のBPSPについては人間関係が関係しているとの事で、認知症の人に対して今まで注意して接していたが今まで以上に注意しなければいけないと思った。非常に勉強になりました。
- ◆とても興味深く有意義な時間でした。精神症状のある方に対しても経過をみながら家族等との連携が大きい役割と改めて感じました。ありがとうございました。
- ◆利用者が穏やかに過ごせるように薬を使う。介護軽減のために使うのではない→本当にそう思いますが家族や介護者のために主治医に訴えることがあるなあと考えさせられました。
- ◆人格障害について聞きたかったです。昼間の傾眠に対して何度か覚醒を促す声掛けが有効とお話で、もう少し頑張り睡眠導入剤を使用しての昼夜逆転対策ではなくコミュニケーションを充実させようと思いました。
- ◆認知症によって知能・記憶はよく聞きますが感情・思考・知覚障害を具体的に分かりやすくしTVを見ながら学習できてよかったです。精神疾患については是非聞きたいです。ありがとうございました。
- ◆普段関わっている患者さんでも、精神症状が当てはまる方が多いと思った。「不安」は特に多いが対応の仕方が分からないと感じることがある。
- ◆精神科領域は言葉が難しく、より専門的に看護する為には用語をしっかりと理解しておく必要があるなと思いました。用語について簡潔に講義して頂けて良かったです。
- ◆一般的なものと認知症の比較やVTRがあつて分かりやすかった。引きこもり（閉じこもり）についてのアプローチ等 聞きたかった。
- ◆精神症状を具体的に説明してくださり、よく分かりました。ありがとうございました。機会があれば人格障害も聞きたいです。
- ◆精神疾患を持っておられる方の症状は判断がつけづらい所が多かったのですが、今日の研修で違いを理解しやすくなりました。
- ◆普段、認知症や精神疾患の方と関わる仕事なのでとても興味深いお話でした。参加して良かったです。
- ◆今回、精神症状のことがいろいろ聞けて良かったです。知らない事もいっぱいあり学ぶことができたので良かったです。ありがとうございました。
- ◆実際にビデオでの症例等もあり分かりやすかったです。ありがとうございました。

ご質問

「妄想については肯定も否定もしてはいけない」との話がありましたが、どの様な対応が望ましいですか？ 若い人の自殺を減らす為にできる事はあるのでしょうか？

●「妄想に対しては、否定も肯定もしてはいけない」と、教科書には書いてあります。理由は、否定してしまうと、患者さんは、「この人は、私の言うことをわかってくれない。もう何を言っても無駄だ。」と閉じこもるようになっていたり、肯定すると、「やっぱり、そうなんだ。自分の考え（妄想）は正しかったのだ。」と、妄想が返って強化されるからというものです。ではどうしたらいいのか？そこは、教科書にも明確な記載がないのが難点です。なので、これは、なかなかやっかいな問題です。私は、結論から言えば、この原則は一応踏まえた上で、患者さんとの日頃の信頼関係の上で、時には軽く肯定したり否定したりもあっていいと思います。「そうなんですね・・・そう考えてるんですね。なるほど・・・」「それだと、気になりますね。心配ですね。」「わかります・・・」など。あるいは、否定の場合も、「でも、私は、もしかしたら〇〇さんが、少し考え過ぎているところもあるのかもしれないと思います。」「少し疑心暗鬼になってるのかもしれないですね。」「たとえば、こう考えれば、その考えはまたちょっと変わるかも知れませんよ。」など、内容、状況に応じて柔軟に臨機応変に、しかも説得してやり込めようとせず、ゆっくり聞いてあげる姿勢の中で、話を進めるのがいいと思います。ただ、妄想は、講話でもお話しした通り、説明や説得では容易にならないものなので、言葉かけや、対応だけで妄想を無くそうと、あまりシャカリキにならないよう注意しましょう(笑)。場合によっては薬物療法なども必要な場合があります。妄想に対応する自分なりのコツ、スタンスを少しずつ磨いていきましょう。

●「若い人の自殺を減らすには？」

日本では、2018年、2万598人が自殺でなくなっています。この数字は9年連続減少傾向にありますが、若い人の自殺率（率の方）はあまり減っていません。

若い人の自殺は、従来、中高年の様な、経済的問題や病気が理由というものは少なく、対人関係や、将来不安、時には哲学的な生きる意味・目的の喪失などがあります。ですが、最近では、非正規雇用の拡大で、経済不安も理由になる傾向も否定できません。また、特に韓国の芸能人のように、SNS被害などを苦にして等、若者独特のネット被害の要因もあります。いずれにせよ、自殺は、精神医学的側面以外にも、社会的、文化的、景気などいろいろなものが関係しており、地道な取り組みが必要です。地域社会としては、若い人が相談しやすい環境を作るために、ゲートキーパー（心理、社会的問題や生活上の問題、健康上の問題を抱えている人など、自殺の危険を抱えた人々に気づき適切にかかわる人材）の養成を図ること。人間の多様性に対する寛容さを失わない地域社会を作ることが重要だと思います。

令和元年度の納入をお願い致します。

- セミナー受講の際は、会員証を受付で必ずご提示下さい。
(平成30年度 会員 359名)
- 大村市医師会のホームページにてセミナーだよりを掲載しております。便りが郵送不要の方はご連絡下さい。
お申し込みの際にメールアドレスをご記入して頂くとご案内が届きます！ **ぜひメールで♪**





劇 ぞいでみんな つながった!!

お節介カモン!!

“あなた”や“あなたの大切な人”の
「し・あ・わ・せ(福祉)さがし」はじめませんか?
演じるのは市内の医療・介護・福祉に関わるみなさんです。

事前申し込み不要です。多数のご参加をお待ちしています。

日時 2019年 **10月6日** 日 13:00~14:30
[開場12:30]

会場 シーハットおおむら さくらホール (大村市幸町25-33)

参加費
無料

手話通訳
あり

主催:大村市在宅ケアセミナー/大村市医師会/大村市